

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2019-177591 (P2019-177591A)
【公開日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)
【年通号数】公開・登録公報 2019-042
【出願番号】特願 2018-68362 (P2018-68362)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/01 3 0 7

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 26 日 (2021.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装置に対して脱着が可能であり、インクを吐出する記録ヘッドと、
前記記録ヘッドと接続可能であり、前記記録ヘッドとのインクの受け渡しを行うジョイント手段と、
前記記録ヘッドを押圧する押圧手段と、

前記ジョイント手段の移動に伴って、前記ジョイント手段と接触して移動することで、
前記押圧手段による前記記録ヘッドへの押圧を解除する押圧解除手段と、を備え、

前記ジョイント手段は、前記押圧手段によって押圧された前記記録ヘッドと接続された
第 1 位置と、前記押圧手段によって押圧された前記記録ヘッドとの接続が解除された第 2
位置と、前記押圧解除手段による押圧が解除された前記記録ヘッドとの接続が解除された
第 3 位置と、に移動可能であることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 2】

前記押圧手段は、複数の前記押圧手段であり、前記押圧解除手段は、複数の前記押圧手段による前記記録ヘッドへの押圧を略同時に解除することを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 3】

前記押圧手段は、一端部を回動可能に支持されており、回動に伴って前記記録ヘッドを押圧することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 4】

前記押圧手段は、前記押圧解除手段を跨いで設けられていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 5】

前記ジョイント手段は、傾斜面を有した傾斜部を備えており、前記ジョイント手段の移動に伴い、前記押圧解除手段は、前記傾斜部と当接して押圧されて移動し、前記押圧手段と離間することで、前記記録ヘッドへの前記押圧手段による押圧が成されることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 6】

前記押圧手段は、突出した突出部を備えており、前記突出部で前記記録ヘッドを押圧することを特徴とする請求項 1 ないし請求項 5 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録

装置。

【請求項 7】

前記押圧手段は、バネと係合されており、前記バネの張力によって前記記録ヘッドを押圧していることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 6 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 8】

前記ジョイント部材は駆動源と接続されており、前記駆動源の駆動力によって移動することを特徴とする請求項 1 ないし請求項 7 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 9】

前記駆動源は、モータであることを特徴とする請求項 8 に記載のインクジェット記録装置。